



笠間便り

白山市立笠間中学校

校長 松本 政彦

「凡事徹底」から一歩進める

弥生三月、いよいよ3年生が巣立つとき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の対策として、政府から全国の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に対して休業するように要請がされました。この要請を受けて白山市では、市内の小中学校を3月2日（月）から24日（火）まで休業とすることになりました。この期間は、不要不急の外出は避け、やむを得ず外出する時は、マスクを着用し、帰宅時はこまめに手を洗ってください。新型コロナウイルス感染症の感染拡大は深刻な問題であります。この臨時休業の意味をしっかりと理解し、節度ある行動を心がけてください。ご家庭でもしっかりとご指導をお願いいたします。

さて、今年度本校では、「保護者・地域と共に歩む活力ある学校」を学校経営目標に、目指す生徒の姿を「常に正しく行動できる知・徳・体のバランスのとれた生徒」とし、「凡事徹底」（当たり前のことをしっかりとやり切る）をキーワードに4月のスタートを切りました。

これらの目標の実現には従来の取組に加え、新たな仕掛けが必要と考え、次のような取組を実施しました。（一部）

【学力向上】

- 「笠間中オリジナル授業デザイン」・・・授業規律や「思考力・判断力・表現力」の育成。
- 「自習コーナー(スタバ)設置」・・・すぐに質問ができ、学習に取り組む雰囲気をつくる。
- 「チャイムスタート」・・・授業規律の確立。

【主体性、豊かな心の育成】

- 「あいさつ運動、無言・気づき清掃」・・・生徒の主体性の育成。

【保護者・地域との連携】

- 「ホームページの充実」・・・写真を添えて毎日更新し学校の様子を紹介。



本校の課題である「学力向上」や「生徒の主体性の育成」を目指したものが中心となっていますが、少しずつ成果が出ていると感じています。課題である「学力向上」に関しては、12月に行われた「2年生評価問題」において、向上が見られました。「主体性」の育成については、運動会や文化発表会の企画・実践、学代による学習の取組等、「自分たちで考え、実践し評価する機会」を意図的に設けたことで、少しずつ「自分たちの生活を自分たちでよくしたい」との思いが出てきています。

また、「ホームページ」については、アクセスが2千件を超える週があるなど、多くの皆様にご覧いただき、「学校や生徒の様子・頑張りがとてもよく分かる」とのご意見もいただきました。

しかし、生徒たちの「伸びしろ」は、まだまだ多く残っています。「凡事徹底」を基本に、より良い笠間中学校を目指し、保護者や地域の皆様のお力を借りながら、更なる向上のために努力していきたいと思っております。子どもたちの頑張りが保護者や地域の皆様方の元気の源になればと思っております。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

3月13日（金）には卒業式が、18日（水）には公立高校の合格発表があり、3年生にとってはいよいよ旅立ちの時となります。「学ぶ心、自分を高めようとする心を持って、何があっても前向きに人生を歩んでほしい」と願っています。

